

● Botanical Bar ONIWA

渋谷という大都市の中にひっそり存在するお洒落イメージしたフロンティア。



店内にはグリーンやお花の装飾、メニューには野菜やフルーツ、スパイス&ハーブをメインに使用、自然派ワインも充実。心身ともにヘルシーにお酒や会食をお楽しみ頂けます。本作の公開を記念して、映画の半券ご提示でお会計より200円引き、ショップカードを劇場窓口にて提示すると当日1,800円から200円引きいたします。また、上映期間中限定のオリジナルメニューも販売。

実施期間：5月28日(土)〜ル・シネマ上映期間中  
※お誕生日・結婚・出産、ご存命日に限る変更はおけません。  
TEL: 045-517-6500

TEL: 03-6410-0785  
mail: contact@bar-oniwa.com  
URL: www.bar-oniwa.com

実施期間：5月28日(土)〜ル・シネマ上映期間中  
※特サービスのご利用はできません。

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

予約 ONIWA

● アロマ看護ケア

「或る終焉」公開記念! 看護師による訪問アロマリートメントはいかがですか?

お客様のニーズに合わせた1対1の完全プライベート看護を提供しているアロマ看護ケアでは、映画の半券ご提示で「VIP看護」を通算料金32,400円(税込)/3時間を50%OFFで体験できます。

実施期間：5月28日(土)〜ル・シネマ上映期間中

※お誕生日・結婚・出産、ご存命日に限る変更はおけません。  
TEL: 045-517-6500

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

PRESENT

■ 初日来場者プレゼント

● 健康大陸 チアシード30g

中東米先住民の貴重な食料・栄養源として用いられてきた。栄養価の高いスーパーフード。今日日のオメガ3の他、ミネラル・アミノ酸が豊富。食物繊維の塊なので、お通じにもリッチ。まさにお子様からお年寄りまで、美容と健康に最適な自然食品です。



5月28日(土)にBunkamuraル・シネマ【東京】、テアトル梅田【大阪】、伏見ミリオン座【愛知】へご来店のお客様が対象となります。(数量限定)

提供：株式会社ラティナー

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

ご予約はこちら

■ 公開2週目来場者プレゼント

● 癒しのアロマオイル お試しサイズ

高品質な自然の恵みだけを使用しているアロマオイルを、ご来店のお客様先着(数量限定)でプレゼント致します!アロマの香りでお過ごしいただきたい。

5月4日(土)にBunkamuraル・シネマ【東京】へご来店のお客様が対象となります。(数量限定・先着順)

提供：アロマ看護ケア株式会社

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア

アロマ看護ケア



或る終焉

5月28日(土)よりロードショー  
特別鑑賞券¥1,500(税込)絶賛発売中!  
※1回¥1,800(税込)のところ

<p>〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 Bunkamura ル・シネマ 03-5477-9264 <a href="http://www.bunkamura.co.jp">http://www.bunkamura.co.jp</a></p>	<p>〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 テアトル梅田 03-5477-1000 <a href="http://www.tokyo.jp">www.tokyo.jp</a></p>
<p>〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 伏見ミリオン座 03-5477-1000 <a href="http://www.tokyo.jp">www.tokyo.jp</a></p>	<p>〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 シアターキノ 03-5477-1000 <a href="http://www.tokyo.jp">www.tokyo.jp</a></p>
<p>〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 京都シネマ 03-5477-1000 <a href="http://www.tokyo.jp">www.tokyo.jp</a></p>	<p>〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 シネリーブル神戸 03-5477-1000 <a href="http://www.tokyo.jp">www.tokyo.jp</a></p>

第68回 カヌ国際映画祭  
脚本賞受賞

孤独な魂が寄り添う——親密なる最期のとき

トム・ロス Tom Ross

# 或る終焉

CHRONIC

監督：トミシユル・フランコ (Tommy)

ある看護士の献身愛と感動が深く、美しい生命の裏で  
世界を騒がせたその「結末」に、あなたの胸は買われる

GAGA

## 「使用禁止」

あまりにも唐突なラストシーンに、とまどってしまった。  
名優ティム・ロス演じる、ある看護師の物語。  
魂の救済はかくも残酷か。

静謐なエンドクレジットに席を立てない。

——佐野元春 (ミュージシャン)

いい映画はいつも「わからないもの」に向かっていく。

そして「わからないもの」とは死のことだ。

だから映画は死と向きあわなければならない。

その意味において「成る終焉」は信じられないほど力強い。

改めて映画の持っている底力を感じました。必見!

——大森立嗣 (映画監督)

なんて静かでシンプルな映画なんだ。

余計な台詞がない分、さらに想像力が掻き立てられ、

俳優達の中に流れる股れんばかりの躍動感が痛い程突き刺さる!

あのヤンチャ野郎だった、

ティム・ロスの悟りを開いた演技が堪らない……

——滝藤賢一 (俳優)

終末期専門の看護師が日々と手厚く在宅患者の営みを支える。

多くを語らない、そんな彼を、ある患者は逃さない。追い込む。

音楽が使われないのは、ぶふラストシーンの音を出させるための。

看護することの孤独の音。

——小林光恵 (元看護師/著述家)

静謐な湯気が充たされている、ひとつひとつの——時間。

片時も目が離せず、いつしか、自分のことも、人生というものを、

俯顔から見つめている私があった。

うめることのできない生命の時間がある。

だからこそ呼応する——魂の物語。

——中嶋朋子 (女優)

わたしは嘗々、どうやれば映画の中で呼吸出来るのかと悩む。

演じることのその先で、ちゃんと呼吸するティム・ロスさん。

同じ歳のティムさんに嫉妬する。

——光石研 (俳優)

監督と出演者の完全な信頼によって生み出されている、真のリアリティ。

そして、なによりティム・ロス。

淡々としながら、針の穴を通すような、繊細で微妙な演技。

——利重剛 (映画監督/俳優)

ティム・ロスの在り方と演出の新しさは素晴らしい

→コマ→コマ丁寧に看護師像がトランプタワーのように築かれていく!

——風吹ジュン (女優)

リアルと嘘。優しさと緊迫。冷静な演技、長回しのカット、ブルーを効かせた配色。

どう観るかをこちらに委ねるストーリー。全てが美しく、スリリングだ。

観終わってからなお、私はこの映画をどんどん好きになっている。

——東ちづる (女優/タレント)

心地よい音楽のように流れる映像。

終末期医療で恩恵に患者に寄り添う男性看護師の愛と葛藤。

そんな情景が一瞬にして吹き飛んだラスト。

まさに人生の不条理が僕の心を買った、凄い映画だ!

——伊藤隼也 (医学生/ジャーナリスト)

“看取り”は死から目を逸らさずに患者や家族の心の痛みに寄り添うこと。

人間を絶望の淵に追い込むのは「孤独」である。

「死にたい」は「生きたい」という魂の叫び……

看取りに関わる全ての人に求められるのは覚悟である。

この映画が映し出す孤独を抱えた人達は明日の自分の姿。

“限りある命”を最期まで生き切ることを支え

見守ってくれる人が貴方にはいるだろうか。

——町亞聖 (フリーアナウンサー)

©2020年・松竹映画



終末期の患者をケアする看護師デヴィッド。

死を乞う患者を前にしたとき、彼はどう命に向き合うのか。

ある看護師の崇高なる献身愛と葛藤を描いたサスペンスフルなヒューマンドラマ

デヴィッド(ティム・ロス)は、終末期患者の看護をしていた。妻と娘とは、息子の死をきっかけに疎遠となり、一人暮らし。彼には、患者の在宅看護とケアサイズに助む以外の生活はなく、患者が望む以上に彼もまた患者との濃厚な関係を必要としていた。ある日デヴィッドは、末期がんで苦しむマーサ(ロビン・バートレット)に家族を援助して欲しいと頼まれる。患者への深い思いと、デヴィッド自身が抱える暗い過去とその狭間で苦悩する彼が下した壮絶な決断とは——。



世界を騒然とさせたその“結末”に、あなたの胸は貫かれる!

イニヤリトゥ、キュアロンにつづくメキシコ次世代の新鋭が問う人生の終末。

アカデミー賞®受賞の功績を持つアレハンドロ・G・イニヤリトゥやアルフォンソ・キュアロンなどの世界的巨匠を輩出し、常に一歩先を行く大胆かつ繊細な視点と唯一無二のエンターテインメント性で世界を熱狂させてきたメキシコの映画芸術。彼らにつづき、メキシコ次世代を担う新たな守衛は、あくまでクールなまなざしが持ち味の新興だ。2009年に長編監督デビューをして以来、わずか2作目の「父の秘密」(12)が第65回カンヌ国際映画祭「ある視点」部門にてグランプリ受賞。続く3作目の本作が第68回カンヌ国際映画祭脚本賞受賞と、映画監督としてはまだ短いキャリアにもかかわらず、世界最高峰の映画祭を制してやまない俊英ミシェル・フランコである。36歳という若さでありながら「人間」を深く探り出す、研ぎ澄まされたその観察眼に私たちは驚きを隠しえない。

また、主人公デヴィッドに扮したのは、主演としてパイプレイヤーとしてさまざまな監督に愛され、幅広いキャラクターをこなしてきた名優ティム・ロス。患者の残りわずかな最期のときを、家族をも超越した距離感で共に過ごす看護師を演じ、役者としての真骨頂を見せてくれる。

本作は、今日最も注目されている終末期医療をテーマに、「看護師」と「患者」という「親密な他人」の関係性をあくまでリアルに定点観測のごとく冷静に映し出す。監督自身の体験談から紐解かれた絶対的説得力のある脚本。一方で、作品全体に漂う決して探明的ではない静謐な余韻は、観る者に真実的なまでにあらゆる感情と想像をもたらす。そして、想像をはるかに超えたその“命のゆくえ”は私たちに、美しくも強烈な余韻を残してくれるにちがいない。